

授業 コード	11115	科目名	情報社会論		担当者		永井 純一			
		副題		開講期	後期	単位数	2	DP対応	S2	

【授業概要】

テレビや携帯電話にパソコン、新聞やラジオなど、私たちの生活は数多くのメディアに囲まれ、それらを介して私たちは膨大な量の情報に接している。こうした社会はしばしば「情報社会」と呼ばれ、それは現代社会を特徴付ける大きな要因のひとつとなっている。本講義では、過去から今日に至るまでのメディアの発展およびその研究動向を概括し、その上で今日のメディア状況、私たちの生活においてメディアが果たす役割について考え、情報社会を生きぬくための知恵や方法を身につける。

【到達目標】

情報社会の進展について理解を深め、必要なメディアリテラシーを高める。情報機器端末の効率的に使用できる。複眼的な視座で情報選別ができる。個人情報適切な管理ができる。

【授業方法・計画】

パワーポイントを利用した講義形式。印刷物を配付する。

- |      |                       |
|------|-----------------------|
| 第1回  | 導入：環境化するデジタルメディア      |
| 第2回  | ウェブは本当に情報の大海か         |
| 第3回  | ネットは自由な空間か管理された箱庭か    |
| 第4回  | ケータイは友人関係を広げたか        |
| 第5回  | ゲームでどこまで恋愛できるか        |
| 第6回  | 動画共有サイトでは何が共有されないのか   |
| 第7回  | iPodはコンテンツ消費に何をもたらしたか |
| 第8回  | オンラインで連帯する            |
| 第9回  | 「つながり」で社会を動かす         |
| 第10回 | ケータイで都市に関わる           |
| 第11回 | リアルタイムにウェブを生きる        |
| 第12回 | デジタルメディアで創作する         |
| 第13回 | デジタルコンテンツとフリー経済を考える   |
| 第14回 | まとめ：メディア・リテラシーの新展開    |

【準備学習・復習】

準備学習：テキストの該当箇所を読んでおくこと(100分)。  
 復習：授業内で紹介した参考文献や資料を読む(100分)。

【課題に対するフィードバックの方法】

前回授業時の小レポートに対するフィードバックを毎回おこなう。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

成績評価方法	授業内小レポート(40%)、期末レポート(60%)によって総合的に評価する。
教科書	『デジタルメディアの社会学』 土橋巨吾ほか 北樹出版
参考書	

SS2103	授業に関連する実務経験	なし
--------	-------------	----